

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 435

事務事業名	乾馬場空港線整備事業	
基本目標	050201	機能的で環境と調和したまち
政策		道路網の整備と公共交通の利便性の向上
施策		道路網の整備
関連施策		

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	道路課		
課長名	森 幸則	内線	427
担当者名	谷口 真也	内線	424

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画		
重点事業		

会計	一般会計		
款	8	土木費	
項	2	道路橋りょう費	
目	7	防衛施設周辺整備事業費	
事業コード	010101,02	乾馬場空港線整備事業	

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市道利用者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	歩道の狭小区間の解消及び自歩道の整備を行うことで、車道との区分を明確にし利用者の安全確保と自動車交通の円滑化を図り、地域の人々の安全で快適な交通環境を実現する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	全体計画 歩道改良 延長L=1, 240m 歩道幅員W=3. 5m×2(左右)		
事業期間	平成 27 年度	～	平成 31 年度
実施方法	直営		

成果指標名	当該路線の整備率				算定式等	当該年度までの整備延長/当該路線の整備延長
着手前現状値	平成 27 年度	単位	%	0		
完了後計画値	平成 31 年度			100		

【DO(実施)】

事業実施項目	25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額							
	項目別進捗率							
実施設計	実績・計画額			11,807				11,807
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	
用地・補償	実績・計画額							
	項目別進捗率							
建設工事	実績・計画額				89,677	83,900	103,309	87,734
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.00%	24.59%	47.60%	75.94%	100.00%
事務費等	実績・計画額			195	7,223	6,436	8,240	6,479
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.68%	25.96%	48.49%	77.32%	100.00%
合計	実績・計画額	0	0	12,002	96,900	90,336	111,549	94,213
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	2.96%	26.89%	49.19%	76.74%	100.00%

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	0	12,002	96,900	90,336	111,549	111,549	405,000
国庫支出金			8,401	67,830	61,135	77,385	77,385	280,000
県支出金								
地方債			3,600	29,000	26,200	33,100	33,100	119,800
その他								
一般財源			1	70	3,001	1,064	1,064	5,200
② 人件費(千円)	0	0	4,943	8,236	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)			0.63	1.09				
時間外勤務(時間)			250	155				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	0	0	16,945	105,136				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組を しましたか(昨年度の【ACTION】の 改善・改革の進捗等)	昨年度、詳細設計を行い、本年度から工事に着手する。
事業が抱える問題・課題等	通学路の安全対策のため整備は急務である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	通勤通学の歩行者や自転車の安全確保及び自動車交通の円滑化を図るうえで、必要不可欠な事業である。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	本路線は通学路として利用されており、交通弱者である歩行者や自転車の安全性の確保は緊急性が高い。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	歩道の整備を図ることで、交通安全対策の推進に大きく寄与する。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり	該当なし		
	事業においてコスト削減に配慮し、経済的な工事設計を実施する。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり	該当なし		
	防衛補助事業で実施するため、国の補助率が定められている。						

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持
--------	------

内容 今後の方向性のもとで、どのような 取組をするか(課題や問題点等に 対する取組など)	事故発生の際には、避難や救助活動が円滑に行う事が出来るよう施設設備の早期完了を目指す。
効果 事業の改善・改革によって期待され る効果は何か	有事の際の緊急避難路の役割及び通学路における安全性の向上。

1 次 評 価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2 次 評 価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。